

第8回 PIERS フォーラム（オンライン開催） 「海の上を歩く英国の栈橋」（その1）

PIERS フォーラムの趣旨

『人々が海を楽しむ栈橋』を核とする英国はじめ海外の海辺のリゾートの持つ魅力を日本の海岸づくり、街づくりに取り入れて、地域活性化に繋げる方策を考える

第9回 令和4年3月10日（木）14:00～16:00 会場；ZOOM Meeting

国土交通省港湾局、地方整備局、地方自治体、学識経験者、学院生、財団、民間企業、プレス等、98名に参加いただきました。

英国の海辺のリゾートには海の上を歩いて楽しむための栈橋が多数あります。日本で栈橋といえば船を係留し貨物を積み下ろし旅客が乗降するイメージですが、英国では物流や人流のためというよりは、街の延長として人々が海の上で様々な楽しむための公園のような空間になっています。日本の感覚では「ナニコレ?!」満載ですが、現地調査で撮り貯めた PIERS 研オリジナルの写真をたくさん盛り込んでビジュアルに現地で感じた雰囲気をお伝えし、海をとことん楽しむ知恵に溢れた「英国の栈橋」の魅力英国の文化的バックグラウンドにも触れながら紹介しています。セッション#1では英国で一番有名なブライトン・パレス栈橋を取り上げましたが、今後シリーズとして特徴ある栈橋を紹介していく予定です。セッション#2は英国栈橋全般について幅広く解説しており英国栈橋ガイドブック（入門編）としてもご利用いただける内容となっています。

プログラム

主催者ご挨拶；古土井光昭（PIERS 研究会会長）

14：00～14：10

セッション#1：「歩いて巡る英国の栈橋 第1回 ブライトン・パレス栈橋」

スピーカー；井上聡史（PIERS 研究会副会長） [<ビデオ>](#)、[<パワポ>](#)

コメンテーター；古土井、八尋、布施谷（PIERS 研究会）

14：10～15：05

セッション#2：「英国人にとっての栈橋と海辺」

スピーカー；井上聡史（PIERS 研究会副会長） [<ビデオ>](#)、[<パワポ>](#)

15：05～16：00